

## 開催報告

# 第62回土木学会年次学術講演会の報告

三菱化学産資(株) 間 昭 徳

第62回土木学会年次学術講演会が、2007年9月12日(水)～14日(金)の3日間広島大学東広島キャンパスで開催されました。交流会は広島全日空ホテルにて開催されました。

9月13日には、広島大学サタケメモリアルホールにて特別講演会として石井弓夫土木学会会長より「我が国における社会資本の現状評価」と題し、ご発表がありました。日本の社会資本の現状の問題点、評価指標と基準の考え方について報告がありました。同日、同場所で全体討論会として「人口減少下における地域の活力向上をめざして～土木技術者からの提言～」と題して5人のパネリストを中心とした討論会が開催されました。討論会では、「人口減少社会」に向けて地域の活力の大前提である安全・安心＝地域防災、直接的な地域の活力源＝地域・交通計画並びに地域に対する愛着、誇り＝自然、文化、歴史とその象徴としての地域景観の視点から課題とその解決の方向、土木技術者の貢献の可能性について論じられました。

また会場では、防災危機管理コンテストと称して以下写真のような実演、競技が行われ、学会は盛り上がりを見せておりました。

なお学術講演部門では、第Ⅲ部門の補強土のセッションなどで、約20編のジオシンセティックス関連の研究発表と活発な討議が行われました。また11月に行われるIS九州のお知らせもありました。

なお来年度年次学術講演会は、仙台で開催が決定となり、その発表もありました。



写真-1 防災危機管理コンテスト(土木学会ホームページより)

以上